

大野一区

ニュース

【令和4年度通常総会】

認可地縁団体として初めての通常総会を5月21日(土)に大野東市民センター大ホールに於いて、新型コロナウイルス感染症対策による人数制限のため、午前は宮島口地域と福面地域、午後は宮島口上地域と宮島口東地域の二部制で開催しました。



午前の部/区長挨拶

初めての議決権委任方式による総会は、委任数が会員数の半数を超え成立となりました。総会は野田区長の基本方針の説明より始まり、5議案を審議した後、寄せられた意見表明書に対する回答が行われました。議案は・1号議案「令和3年度大野第一区運営部会活動結果」・2号議案「令和3年度大野第一区決算」・3号議案「令和4年度大野第一区役員案」・4号議案「令和4年度大野第一区活動計画案」・5号議案「令和4年度大野第一区予算案」が提出され、いずれも賛成多数にて承認可決されました。



午後の部/司会進行

【令和4年度活動計画組長事前説明会】



区長挨拶

昨年度まで4月に開催していた組長総会は、今年度からは通常総会の名称に変更となり、5月に開催される事となりました。変更に伴い、事前に2つの事を説明する必要が生まれました。

一つは、4月1日から始まった新年度の活動計画や事業のスムーズなスタートと運営に向けた説明。もう一つは、5月開催の通常総会への提出議案と報告事項などの説明です。このため、従来の組長説明会と同じタイミングで、令和4年度活動計画事前説明会を4月16日(土)に大野東市民センター大ホールで開催しました。

説明会は新型コロナウイルス感染症対策による人数制限で、午前は宮島口と福面、午後は宮島口上と宮島口東の地域別の二部制となりましたが、来年度からは全地域一同での開催が出来ればと思います。



会場の説明会用資料

大野第一区基本方針

日本に於いては令和2年に突然始まった新型コロナウイルス感染症が、流行・衰退を繰り返しながらオミクロン株による第6波の流行期に入っています。3年間で約860万人が感染し約3万人が死亡する事態になっています。

区長 野田 崇

日本だけでなく世界的なパンデミック(感染爆発)になっています。

この状況下において大野第一区は、令和2年・令和3年と多くの事業を中止に追い込まれてしまいました。

“住み続けたい街”を目標にしている大野第一区は、コロナ禍にあっても様々な工夫をしながら自治会の役割を果たそうとしましたが、十分な活動が出来ませんでした。

令和3年6月1日に廿日市市大野第一区は、法人格を持つ認可地縁団体となりました。

法人格を持ちましたので、令和3年9月27日に着工し本年2月に完成し4月1日からの供用開始の赤崎集会所は、“廿日市市大野第一区”名で法務局に所有権登記して廿日市市大野第一区の財産となりました。

これから赤崎集会所が地域活動の拠点となり、コミュニティが充実するよう有効・有用に活用します。

新型コロナウイルス感染症の流行は、まんえん防止対策が終了しても第7波の流行を想定しながら、感染防止対策を講じて令和4年度事業を進めて参ります。

法人格を持ったとしても、大野第一区の活動に変化はありません。防災ファミリー運動会・夏祭り・餅つき大会の3行事を中心にコミュニティ力を向上させながら、福祉事業・防災活動・環境整備・防犯・青少年育成活動を展開していきます。

区民のみなさまのご支援とご協力なしに廿日市市大野第一区は成立しませんし“住み続けたい街”になりません。

役員一同は、区民の皆様のご支援とご要望を受け“住み続けたい街”作りの先頭に立ちたいと思います。

コロナ禍の終息は、治療薬の完成が条件です。

感染対策の徹底とワクチン接種でコロナ禍を乗り越えましょう。ウイズコロナはもう少しです。ともに頑張りましょう。

大野第一区自治会 令和4年度副区長紹介

この陣営で頑張りますので宜しくご支援願います

中川 和之
総務部
会計担当



三谷 昌一
行事推進部
宮島口1・4丁目担当



下藤 進一
総務部
宮島口2・3丁目担当



正月谷 孝幸
総務部会長
宮島口上1丁目担当



島 啓二
防災部会長
宮島口上2丁目担当



石本 哲郎
総務部
福面1・2丁目担当



清田 克己
総務部
福面2丁目担当



中村 淳
福祉部会長
福面3丁目担当



坂本 幸雄
防犯青少年育成部会長
宮島口東1丁目担当



藤原 優
環境衛生部会長
宮島口東2丁目担当



谷口 明
行事推進部会長
宮島口東3丁目担当



新1年生児童下校見守り

令和4年度「春の一斉清掃」

阿品台西小学校

桜の花が散り始めた4月12日(火)から4月15日(金)まで、令和4年度新1年生下校見守り支援が始まりました。阿品台西小では、小学校正門を先頭と後尾にボランティアがついて児童を見守りながらの帰路で、大野第1区担当はみかん🍊グループでした。別のバナナ🍌グループの中にも宮島口東の児童が数名いますが、ここは阿品コミュニティが担当しました。同様に大野東小では、小学校からミウラ喫茶までは学校関係者による引率で、そこに地域のボランティアと保護者が迎えてくれます。

青葉台第一公園

5月8日(日)に春の一斉清掃を行いました。今回も密を避ける為、午前(8時~9時)と午後(16時~17時)に分けて清掃活動を行いました。今回は、地域の方より『公園の樹木を剪定しても良いか?』、『道路の排水溝を清掃しても良いか?』といった問い合わせが多数寄せられましたので、後日、市役所の方に確認したところ、『一斉清掃の時、公園の樹木を剪定してもらう事は構わない。地域住民に通常の公園の使用の邪魔になる枝を切ってもらうのはありがたい。道路の排水溝の清掃も行ってもらえるとありがたい。』と返答を頂きました。公園の樹木自体を切り倒す事は出来ませんが、通常の公園の利用で邪魔になりそうな枝を切る事は可能です。排水溝の清掃も可能です。



大野東小の児童を待ち受けるボランティアや保護者



阿品台西小近くの陸橋

13日はあいにくの雨でしたが、12日・14日・15日は晴れでした。14日までは午前11時30分スタートでしたが15日は給食が始まったため、引率は午後1時30分スタートになりました。今年の新1年生は新型コロナウイルス感染症に負けず元気元気で頑張りました。新1年生の下校訓練は1週間で終了しました。今後事故にも不審者にも気を付け安全な下校を望むばかりです。

一斉清掃終了後は、早速、楽しそうに公園で遊んでいる子ども達の姿や、散歩を楽しんでいる

宮島口児童公園



方々の姿が見られ、とても有意義な時間を過ごせたと感じています。もちろん普段より一区を清掃頂いている方々、並びに大野第一区の活動にご理解・ご協力を頂いている方々が居られるからこそ、今の宮島口第一区があると思うと、非常に感慨深く、この場をお借りして改めて感謝の意を表したいと思えます。



大野東小学校下校見守り

フジタウン公園



防災会だより

4月16日の大野第一区防災会総会の中で防災係の見直しがあり、その役割・配置が明確になりました。組内を幾つかの防災班に分け、防災係を設置します。役割は災害発生時の安否確認です。隣近所への声掛けだと思って頂ければ結構です。各防災班で情報交換してもらうのが理想です。

安否確認する場面は

- ① 震度5以上の地震発生時
- ② 受け持ち世帯で何らかの自然災害被害が生じた時
- ③ 安否確認訓練時・・・の3場面です。

ご協力を宜しくお願いします。

今回から数回に分け非常時の対処法クイズを紹介します。是非考えてみてください。

1. 料理中に地震が起こった！！ □

① 火を消す。 → まず取るべき行動は？

② 外へ避難する。③ テーブルの下へ潜る。

2. 外出中に地震が起こった。落下物から身を守るための正しい体勢は？

① ハンドバックを頭にしっかり付け、手首は体の内側に向ける。

② ハンドバックと頭の間隙間をあけて持ち、手首は体の内側に向ける。

③ ハンドバックと頭の間隙間をあけて持ち、手首は体の外側に向ける。

答え

1項の正解は③。現在、震度5程度以上なら都市ガスやプロパンガスは遮断されます。揺れている時は、コンロには近づかないで下さい。また、落ちてきた瓦や割れたガラスで怪我をする恐れがあるので、外に飛び出すのはなるべく避けます。テーブルの脚を持って低い姿勢で頭を守り、揺れが収まるのを待ちましょう。

2項の正解は②。持っているハンドバックや上着を掲げて、落下物から頭部を保護するためにバックなどと頭部との間に隙間を作り、ぶつかった時の衝撃が頭部に直接伝わらないようにします。また、手首を体の外側に向けていると、落下物で動脈を切ってしまう恐れがあるので、必ず手首は内側に向けましょう。この姿勢なら首の左右にある頸動脈も守れるので、致命的な出血を防ぐことができます。

待望の“100歳体操” 赤崎集会所でスタート！



体力測定ぐるっと一周早歩き

4月の赤崎集会所開設に伴い、全国規模で実施されている「いきいき100歳体操」を、「元気クラブ」の名でスタートしました。この体操は、高齢者ができる限り要介護状態に陥ることなく、健康でいきいきした生活を送れるよう支援することを目指し開発された体操で、全国の自治体に広がっています。大野第一区では、既に青葉台集会所と柿の浦集会所で行われています。

初日の4月18日は、受付開始前から来られる方が何人も居られ、正に待ち望んでいたクラブであることが伝わってきました。包括支援センターの方により体力測定を行った後、100歳体操の指導をしていただきました。体力測定では、早歩きや片足立ちなど自身の現状を確認するものですが、皆さん一生懸命に「頑張っ」ておられました。100歳体操はゆっくりとした動きです。椅子を使ったスクワットや足を持ち上げる体操など筋力負荷の大きい体操は「初めてなのであまり頑張りすぎない様に」「声を出して呼吸をしましょう」などの助言がありました。新しい集会所は明るく、参加者は気持ちよく楽しみながら行っていました。この

「元気クラブ」は毎週月曜日の午前・午後の2グループに分けて実施しており、交流の場・楽しく元気に健康を作る場になることを期待しています。



頑張りすぎないで！スクワット



錘を付けて筋力アップ！